

★ 今年の教員採用試験合格者から学ぶ

今年の教員採用試験は、公立では20人中15人が合格しました。私立も含めると25人中20人が4月から教壇に立つこととなります。昨年の3倍増の実績です。これらは間違いなく、合格した卒業生・学生諸君の努力の賜物です。半年前の8月37℃の猛暑の中、毎日面接練習にやって来た彼らの姿を思い出します。面接予約のキャンセル出ると、どんどん追加申込をしていたのが印象的でした。それだけ教員になりたいという意識が高かったのです。一般企業への就活もそうですが、教員採用試験では「この人を教壇に立たせて大丈夫か?」「校長から見て、自分の学校で採用したい人物か?」という視点で評価されます。私も面接官のときに感じましたが、まずは、受験生から「どうしても教員になりたい!自分は、教員に向いているんだ!」という強い意志が面接官に伝わってくるのが合格の必要条件です。つまり、強い意志の感じられない受験生は合格しないのです。よく2次試験直前になって面接票の志望理由が書けない人がいますが、その段階でアウトです。



さて、今年合格した10人の先輩からの珠玉の合格体験談が集まりました。12/14に合格体験談発表会を行いました。学校の仕事の関係でその日に参加できなかった卒業生からの激励原稿も多数入っています。合格体験記は3月発行の教職課程年報に掲載されますが、それまで待てないという人は教職課程センターに来てくれれば早めに原稿をお渡しできます。そう、そういう積極性が合格につながるのです。合格論文書き方講習や論文添削、合格体験談発表会、面接講習や面接練習、教育法規講習や学習指導要領講習などの教職課程センター行事は、全て「学年不問」です。どのイベントも3・4年生が多いですが、1・2年生も数人参加しています。2年生の中には、この3月に志望自治体の教員養成講座に参加する人がいます。こういう意欲の高い人たちは、きっと現役合格することでしょう。

★ 来年の教員採用試験のヤマをはる!?

さて、ヤマなどはらずにまんべんなく勉強する方がいいに決まっていますが、理系の諸君は専門科目の授業やゼミ・実験で大変忙しいので、試験に出やすい分野から勉強するのが効率的です。ヤマといっても自治体によって特色があるので一概には言えませんが、世の中の動きなどから見てどの自治体でも出そうな分野を挙げてみます。少しでも参考になれば幸いです。これらの中から、文科省のWebページや受験雑誌などで勉強してください。

- 【教育時事】・教員の働き方改革 ・児童虐待 ・体罰 ・大学入学共通テスト ・SDG'sとESD ・STEAM教育
 ・Society 5.0 ・OECD国際学力調査「PISA」 ・全国学力・学習状況調査 ・インクルーシブ教育
 ・チーム学校 ・人権教育 ・キャリア教育 ・情報教育 ・防災教育・安全教育 ・LGBTQ
 ・不登校 ・教育振興基本計画 ・いじめ防止 ・食育 ・教育相談 ・学校事故
 ・オリンピック、パラリンピック教育 ・教科等横断的な指導 ・カリキュラム・マネジメント

- 【答中等】・中央教育審議会答申(2016.12月)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」
 ・人権教育の指導方法等に関する調査研究会議(2008.3月)「人権教育の指導方法等の在り方について〔第3次とりまとめ〕」
 ・文科省(2018.6月閣議決定)「第3期教育振興基本計画」
 ・文科省(2017.3月)「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気付き、支え、つなぐために～」
 ・文科大臣決定(2013.10月～2017.3月)「いじめの防止等のための基本的な方針」
 ・不登校に関する調査協力者会議(2016.7月)「不登校児童生徒への支援に関する最終報告～一人一人の多様な課題に対応した切れ目のない組織的な支援の推進～」
 ・中央教育審議会答申(2015.12月)「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」
 ・教育相談等に関する調査研究協力者会議(2017.1月)「児童生徒の教育相談の充実について～学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり～」

《イベント予定》2月19日(水)13:20～17:00 アナウンサーによる面接講習(於:西館1階 遠隔視聴覚室)
 2月21日(金)～4月1日(水):個人面接練習・集団討論練習・教育実習向け模擬授業

★以上は、現在追加希望受付中。学年不問です。参加希望者は、教職課程センター又はメールで申し込んでください。先着順!キャンセル待ちも発生しています。

【お知らせ】今後、「合格論文書き方講習」「学習指導要領講習」「教育法規講習」は、実施しません。その代わりに、これらの講習動画を入れたDVDを随時貸し出しています。学年不問です。これらを有効に活用してください。

《筆記試験攻略法》

(1) 友達と学び合おう！ - 一人でコツコツと勉強するだけだとイバラの道 -

これからの教員に求められているのは、チームワーク力です。だから、集団討論や場面指導の試験があるのです。したがって、勉強するときも一人でこもってするのは得策ではありません。友達や仲間と教え合いながら勉強すると合格率がグッと上がります！ 教職課程センターに来た仲間とならベストです。

(2) まずは自治体の出題癖の分析から - 出やすい問題から取り組もう！ -

教育法規や答申等の好きな東京都、場面指導の好きな埼玉県や相模原市、数学の指導場面を問いたがる千葉県・千葉市や東京都など、自治体によって出題傾向には特徴があります。したがって、やみくもに勉強すると無駄が多くなります。そもそも在学中に教採の筆記試験全範囲を勉強するのは不可能です！絶対ムリ！それは、範囲が広過ぎるからです。試験ですから合格しなければ意味がありません。合格するためには、合格するように勉強しなければなりません。例えば、神奈川県的一般教養では、音楽と美術から1題ずつ出題されますが、それだけのために音楽と美術を勉強するのは無駄が多過ぎます。一般教養で自分の専門は100点を取り、併せて専門教養や教職教養、論文の点数を上げる方が合格しやすくなります。特に理科教員を目指す人は、物化生地のうち自分が得意でない分野をしっかりと勉強しておきましょう。まずは、志望自治体の過去問をじっくり眺めて出題傾向をつかんでください。 志望先のニーズに合わせた受験勉強をしましょう。

(3) WCや風呂を活用しよう！ - 小さな時間を無駄にしない -

教職教養や一般教養など、筆記試験では暗記することが多いです。暗記するときにはWCや風呂を活用しよう！TVのコマーシャルを覚えている人は多いでしょう。でも、誰も暗記しようとは思っていません。つまり、何度も目に触れ、耳で聞いているうちに覚えてしまったのです。そこで、覚えるべき教育法規や教育心理の人物などを紙に書いて家のWC内の目に付く所に貼っておこう。 それほど意識しなくても自然に覚えてしまうでしょう。覚えられたら次の紙を貼ります。風呂も同じです。最近は水に強い紙が出ています。風呂場の目に付く場所に貼っておきましょう。ただし、くれぐれものぼせないように。私もこの方法で大学受験、教採、管理職試験を乗り切りました。最近は、教採アプリを活用している人も増えています。

(4) 問題集は同じものを3回解こう！ - 次々と新しい問題集に飛び付かないこと -

専門教養などは、過去問や問題集を解くことで力が付きます。ただし、あれもこれもと手を出さないこと。 やり残して自信をなくすだけです。1冊を3回解いてください。 問題を解いた後には必ず印を付けます。印とは、「解答できた問題はA、解説を読んで分かったらB、分らなかつたらC」です。1回目は、超スピードで全ての単元を解答します。時間がかかりそうなら奇数番号の問題だけでも構いません。粗くても全ての単元を終えることが大切です。得意なページから次々と進めていってください。大切なことは、勉強した足跡を残しておくことです。 計算用紙もメモ用紙も全部綴じておいてください。それらが溜まっていくと自信になります。2回目にはAの印を付けた問題は解きません。解くのはBとCの問題だけです。2回目も解いた後には印を付けます。BがAに、CがBになるのが目的です。3回目も同様です。Aが付いたら解かない。つまり、回数が増えるにつれて問題数が少なくなっていくのです。これで3回終われば、相当実力が上がっています。最後までCが付いた問題はどうするか？「最後までCの付いた問題は、本番で出ない！」と念力をかける。そんな難問に振り回されてはいけません。おっと、もう一つ要注意。数学や理科の問題など、1つの問題に20分以上時間をかけないこと！ 試験当日は、スピードも求められます。20分経ったら、さっさと解説を読んでしまいましょう。つい時間をかけ過ぎ、解いた問題数が少なくなってしまう失敗例が、極めて多いです。



(5) 模試を生かそう！ - 模試は最も効果的な学習機会。ただし、受けっぱなしは禁物 -

模試は、本番に最も近い勉強の機会。どんどん受けよう！でも、受けっぱなしではなく、模試ノートを作ってきちんと反省しておこう。「模試ノート」とは、模試の当日に問題のコピーと受験した感想を書き、答案を貼るスペースを空けておきます。そして、後日答案が帰ってきたらそれを貼り、どこか間違っていたのか、どうすればよかったのかなど振り返るためのノートです。決まった書き方はないので、自分に合ったノートを作りましょう。それを試験場に持参します。模試で大切なのは、点数よりも事後学習です！

★ 諸君の全員合格を期待しています！

★ 教職課程センター小金井相談室は、全力で皆さんの合格を応援します。頑張ってください！